



2022年11月18日

各位

会社名 株式会社 W a q o o
代表者名 代表取締役社長 井上 裕基
(コード番号：4937 東証グロース)
問合せ先 取締役 管理部長 諏佐 貴紀
(TEL. 03-6805-4600)

SBC メディカルグループ株式会社との業務提携及び新たな事業の開始に関するお知らせ (開示事項の経過)

当社は本日付にて、当社の主要株主及び筆頭株主である相川佳之氏が代表を務める SBC メディカルグループ株式会社（本社：神奈川県横浜市戸塚区）と業務提携契約を締結し、新たな事業を開始することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 業務提携及び事業開始の趣旨

2022年8月10日付にてお知らせいたしました通り（※1）、当社の主要株主及び筆頭株主である相川佳之氏が代表を務める SBC メディカルグループ株式会社と業務提携契約を締結し、化粧品分野の多角展開のみならず、医薬品等の商品企画・開発領域への拡充を図っております。

そして、このたび第二弾といたしまして、再生医療領域並びに美容医療領域に重点を置いた事業展開についての取り組みを開始いたします。

2014年の「再生医療等安全性確保法」の施行により、再生医療市場が誕生し、従来、医療機関にて行われていた細胞加工の外部委託が可能となりました。再生医療等製品市場は、上市する製品数の増加や処方者・患者への浸透に加え、難治性疾患の患者に対し高価な医薬品による対症療法で発症を抑えている現状に対して、安価で高品質の製品開発を行い上市化することでQOL（Quality of Life）の向上と医療費削減の実現が期待されていることから拡大して推移しており、2050年には世界で38兆円、国内で2.5兆円の市場規模へと伸長するものと予測されております（出典：2020年3月 経済産業省 第1回再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた基盤技術開発事業複数課題プログラム中間評価検討会資料）。

また、再生医療に対する社会的認知度及び社会的意義の意識が一層高まるとともに、今後も優れた効果・効能を有する開発製品の上市が続くものと期待されております。

SBC メディカルグループ（グループの総称）は、医療を通じ日本に留まらず世界中の人々の声に応え続け、「総合医療グループとしての世界 No. 1」を目指しており、このうち、SBC メディカルグループ株式会社につきましては、医療法人のマーケティングコンサルティング事業の他、医薬品・化粧品等の企画、販売及び販売の斡旋等を強みとして事業を展開し、近年注目されている自由診療の再生医療にも積極的に力をいれております。

一方、当社は「テクノロジーの力で自国の未来に希望を創る」のミッションを掲げ、創業来、D2C(Direct to Consumer)事業を通じて知見を蓄積してきた化粧品分野における商品の企画・開発力、また、お客様の反応や要望をダイレクトに汲み取り、それをマーケティングに活用できる仕組みの構築力を強みとしております。

今回の業務提携は、両社の強みを掛け合わせ、「再生医療市場における新商品・新事業の開発、並びにオフラインとオンラインの展開（クリニック×デジタルの融合）」の実現を目指してまいります。

SBC メディカルグループ株式会社と当社は、今後も相互の強みを活かし、包括的なパートナーシップの更なる拡大を図り、お客様の満足度向上と更なる美容医療及び再生医療の業界の活性化を実現してまいります。

※1) SBC メディカルグループ株式会社との業務提携に関するお知らせ

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS09103/3d875790/f998/4c4e/8185/322eb0510fc5/140120220810517695.pdf>

2. 業務提携及び新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

SBC メディカルグループ株式会社と当社において、各医療機関から「血液由来加工・脂肪由来幹細胞

加工」の受託サービスを全国的に展開いたします。

当社は各医療機関に対して「血液由来・脂肪由来の幹細胞加工」による再生医療サービスに関する導入支援のコンサルティング（企画提案営業）を行うとともに、各医療機関から「血液由来・脂肪由来の幹細胞加工」の申し込みを取り次ぎます。また、医療機関からお預かりした細胞組織をSBCメディカルグループに帰属する医療法人が保有・運営するCPC（細胞加工センター）へ配送手配等を行います。当該CPCにおいては、同医療法人独自の技術を用いて検体の加工及び冷凍保存等を行い、その後、各医療機関の求めに応じて、当社が当該CPCで保管する検体を各医療機関に配送手配等を実施してまいります。これら一連の加工受託サービスをSBCメディカルグループ株式会社と当社が連携して提供してまいります。

(2) 当該事業を担当する部門

再生医療事業部

(3) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特別に支出する予定はございません。

3. 日 程

(1) 取締役会決議日	2022年11月18日
(2) 事業開始期日	2022年11月19日（予定）

4. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	SBCメディカルグループ株式会社		
(2) 所 在 地	神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 908		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 相川佳之		
(4) 事 業 内 容	医療法人のマーケティングコンサルティング、医薬品・化粧品等の企画、販売及び販売の斡旋等		
(5) 資 本 金	10百万円		
(6) 設 立 年 月	2017年9月		
(7) 大株主及び持株比率	相川佳之 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	SBCメディカルグループ株式会社の株式 100%を保有する相川佳之氏が、当社の筆頭株主として当社株式 33.0%（議決権保有割合）を保有しております。	
	人 的 関 係	現時点における該当事項はありません。	
	取 引 関 係	当社とSBCメディカルグループ株式会社との間には、広告・販売促進等業務支援に関する取引があります。	
	関連当事者への該当状況	SBCメディカルグループ株式会社はその他の関係会社に該当いたします。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
純 資 産	3,133百万円	5,766百万円	10,308百万円
総 資 産	11,160百万円	9,308百万円	18,320百万円
1株当たり純資産	3,133,000円	5,766,889円	10,308,963円
売 上 高	13,546百万円	13,206百万円	21,538百万円
営 業 利 益	1,160百万円	1,905百万円	4,999百万円
経 常 利 益	1,173百万円	2,178百万円	5,042百万円
当 期 純 利 益	893百万円	24百万円	4,542百万円
1株当たり当期純利益	893,489円	24,693円	4,542,073円
1株当たり配当金	－円	－円	－円

5. 今後の見通し

本件に伴う、2023年9月期の連結業績への影響は軽微なものと見込んでおりますが、早期に当社の企業価値の向上を果たすべく事業を推進してまいります。また、事業開始後3年目（2025年3月期）を目途として、2022年9月期における連結売上高の10%相当の業績伸長を目指してまいります。当該取り組みは、中長期的には当社の企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上